

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 270 号	氏名	境 麻 里
学 位 審 査 委 員	主 査 上 平 憲 副 査 近 藤 宇 史 副 査 森 内 浩 幸		
論文審査の結果の要旨			
1. 研究目的の評価 本研究は分子標的療法として劇的な効果をあげている Imatinib の慢性骨髄性白血病 (CML) に対する日欧間での有効性の特性について pharmacokinetics の視点から明らかにしようとするもので、目的は十分に妥当である。			
2. 研究手法に関する評価 この種の研究の質に影響しやすい患者の層別化や有効率の判定、血中トラフ値の測定および種々の統計的解析法も適正で、研究手法も妥当である。			
3. 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、Imatinib の日本人に対する欧米人と同等以上の有効率は投与量・トラフ値・投与量／BSA に依存することから血中濃度モニタリングと治療反応性の分子モニタリングの double-monitoring の重要性を明らかにし、今後の白血病治療研究への進展に寄与することが大いに期待される。			
以上のように本論文では臨床腫瘍学の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			